



第1次JOC中期計画（2022-2024） 総括について

第1次JOC中期計画(2022-2024) 各柱立てのテーマ一覧

Pillar1 オリンピックの価値発信

1. オリンピズムの認知・理解向上のためのオリンピック・ムーブメント(OM)推進
2. 大会招致活動・大会機運醸成を通じたオリンピズムの普及・推進
3. 日本オリンピックミュージアム(JOM)を活用したオリンピズム普及活動
4. レガシー創出に向けたパラリンピックとの連携推進
5. オリンピズム普及のためのTEAM JAPANブランドの確立・浸透
6. オリンピズム普及のための表彰制度再構築
7. オリンピズム普及のためのスポーツ価値発信の強化

Pillar2 アスリートの育成・支援

1. 憧れられるアスリートの育成・強化支援
2. アスリートを取り巻く環境の整備
3. 指導者育成及び指導体制の整備
4. 競技力向上のための先進技術&データ活用の推進

Pillar3 国際交流の推進

1. JOCの国際的プレゼンス向上・国際貢献の推進
2. JOCの国際人材育成・強化
3. NFの国際力強化支援

Pillar4 組織力・基盤強化

1. 多様な働き方に対応した労務制度・職場環境の整備
2. 人財活性化の推進
3. 中期計画に基づく組織運営管理
4. ブランド活用による財務基盤強化

Pillar5 NF連携・支援

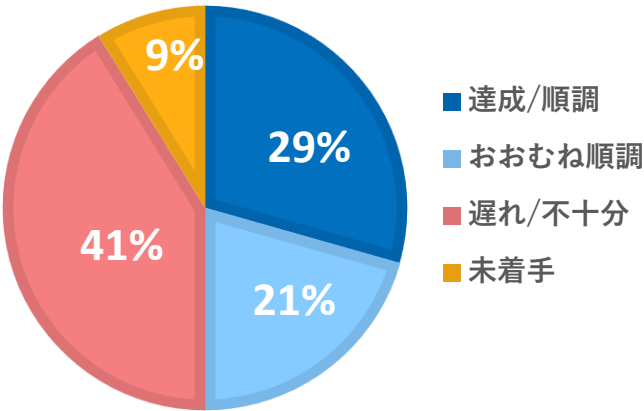
1. NFの自律・自立支援－ガバナンス強化
2. NFの自律・自立支援－財務基盤・組織体制強化
3. NFの自律・自立支援－女性マネジメント人材育成強化

合計21テーマ（34マイルストーン）

各ピラーの2024年度マイルストーン達成状況一覧

ピラー	テーマ	マイルストーン	評価
Pillar 1 オリンピックの 価値発信	オリンピズムの認知・理解向上のためのオリンピック・ムーブメント(OM)推進	1.過去夏冬各2大会参加オリンピアン研修会出席50%以上	遅れ/不十分
		2.オリンピズム認知度45%以上	遅れ/不十分
	大会招致活動・大会機運醸成を通じたオリンピズムの普及・推進	3.将来的な開催に関心ある自治体3ヶ所とコミュニケーション	遅れ/不十分
	日本オリンピックミュージアム(JOM)を活用したオリンピズム普及活動	1.JOM活用実績 15団体以上	達成/順調
		2.国内他組織と連携した展示・活動 累計20件以上	達成/順調
	レガシー創出に向けたパラリンピックとの連携推進	オリパラの一体感を感じる割合50%以上	遅れ/不十分
	オリンピズム普及のためのTEAM JAPANブランドの確立・浸透	1.TEAM JAPANエンブレム認知度70%	遅れ/不十分
		3.パートナー企業の8割がTEAM JAPANブランド活用	達成/順調
	オリンピズム普及のための表彰制度再構築	新たな表彰制度による表彰式実施	おおむね順調
	オリンピズム普及のためのスポーツ価値発信の強化	オリンピズムへの共感度60%	遅れ/不十分
Pillar 2 アスリートの 育成・支援	憧れられるアスリートの育成・強化支援	1.アスリートアカデミーの定着	おおむね順調
		2.選手強化デジタルプラットフォームの基盤完成	遅れ/不十分
		3.シンボルアスリート好感度80%以上	遅れ/不十分
	アスリートを取り巻く環境の整備	1.Webコンテンツ数・再生回数 22年度比+20%増	おおむね順調
		3.パリ2024大会時の包括的サポート実現	達成/順調
	指導者育成及び指導体制の整備	1.新コーチ設置制度・評価制度の確立	おおむね順調
		2.新研修制度運用開始	未着手
		3.指導者資格制度の基本構想構築	遅れ/不十分
4.サポートセンター稼働開始		未着手	
	5.機会提供 年1回以上	達成/順調	
競技力向上のための先進技術&データ活用の推進	1.関係アスリート&スタッフ登録率100%	おおむね順調	
	2.データ活用・技術連携開始	遅れ/不十分	
Pillar 3 国際交流の推進	JOCの国際的プレゼンス向上・国際貢献の推進	2.MEMOS (IOC支援のもとに運営されるスポーツ組織運営の専門家を育成する修士課程プログラム)セッション国内開催、パートナーNOCと国際貢献事業開始(1件以上)	未着手
	JOCの国際人材育成・強化	国際人材育成のための教育プログラム並びに国際人材バンクの整備完了	遅れ/不十分
	NFの国際力強化支援	NFに対する啓発・教育・支援プログラム等の確立	遅れ/不十分
Pillar 4 JOC組織力・ 基盤強化	多様な働き方に対応した労務制度・職場環境の整備	職員の職場満足度80%以上	遅れ/不十分
	人財活性化の推進	人事育成/キャリアプランに沿った新規職員採用、人員構成(年代バランス)改善	おおむね順調
	中期計画に基づく組織運営管理	事業管理のPDCAサイクルが確立され、第1次中期計画検証を踏まえた第2次中期計画策定	達成/順調
	ブランド活用による財務基盤強化	1.共同事業実施企業数 累計15社以上	達成/順調
		2.次期以降の取組確定	達成/順調
Pillar 5 NF連携・支援	NFの自律・自立支援－ガバナンス強化	JOC加盟NFの不祥事案0件	おおむね順調
	NFの自律・自立支援－財務基盤・組織体制強化	参画NF70%以上	達成/順調
	NFの自律・自立支援－女性マネジメント人材育成強化	1.女性役員 0 のNF 0 団体	達成/順調
		2.NFの女性役員割合40%	遅れ/不十分

マイルストーンの評価見込み
(計34件)



- 達成/順調 : 10件 (29%)
- おおむね順調 : 7件 (21%)
- 遅れ/不十分 : 14件 (41%)
- 未着手 : 3件 (9%)

Pillar 1 オリンピックの価値発信

主な実績と成果

- **パリ2024大会に関連した機運醸成とオリンピック・ムーブメント(OM)の推進、オリパラ連携の実現**
(初めて全体でコンセプトを掲げて部署横断によるコミュニケーション戦略を推進、結団式・壮行会、パブリックビューイング、応援感謝イベント、TVCMや各種SNSの積極的配信、公式服装やイベントでのオリパラ連携、多くのパートナー企業、パートナー都市と連携した様々な機運醸成施策や共同事業等)
- **TEAM JAPANブランド確立に向けたNF、パートナー企業等との連携の広がり**
(各競技のユニフォームでの連携などNFジョイントマーケティングの広がり、社会課題解決や復興支援に資する取り組みなどパートナー企業との連携の広がり等)
- **JOCオウンドメディア活用による情報発信の強化**
(TEAM JAPAN TVなどSNSの積極活用、パリ2024大会中の現地からの発信強化、公式サイトリニューアル等)
- **JOCアスリート委員会主導による取り組みの広がり**
(JOCアスリートフォーラムやオリンピック研修会の開催、植林活動などの社会貢献活動等)
- **パートナー都市と連携した取り組みの継続**
(パートナー都市連携会議、オリンピック教室、オリンピックデーラン等)
- **日本オリンピックミュージアム (JOM)の積極的活用**
(各種企画展やパートナー企業連携施策、オリンピック教室in JOM、夏休みこども企画、社会人セミナー等)
- **ステークホルダーとの連携による東京2020レガシーの継承**
(国立博物館、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会等)



令和5年度JOCスポーツ賞表彰式における「一步宣言」



オリパラ合同で実施したパリ2024大会応援感謝イベント



日本オリンピックミュージアムイベント
TEAM JAPAN にエールを送ろう！応援イベント

Pillar 1 オリンピックの価値発信

継続検討課題

- ・ 現役アスリートや直近大会出場のオリンピック選手への学びの機会の提供と参加促進
- ・ TEAM JAPANブランドの認知度およびブランド価値の向上に向けた取り組みの強化
- ・ オリンピズムの認知度および共感度の向上に向けた取り組みの検討や発信強化
- ・ JOCスポーツ賞の在り方の検討と規程の見直し

第2次JOC中期計画に向けて

- ・ アスリートとの更なる連携と価値向上、競技に留まらないアスリートの活躍機会の創出
- ・ スポーツを通じた社会課題解決に向けた取り組みと情報発信の強化（環境保全活動、DE&Iの推進等）
- ・ ステークホルダーとの更なる連携（NF、パートナー企業、パートナー都市、JPCなど関係団体等）
- ・ 愛知・名古屋アジア大会や次回オリンピックへの機運醸成を含めた包括的なコミュニケーション戦略の推進



令和5年度JOCスポーツ賞表彰式の様子



JOCアスリート委員会主催のアスリートフォーラム



<TEAM JAPAN TVCM「一歩、踏み出す勇気を。」63秒編>



JOCオリンピック教室 in JOM



渋谷区とのパートナー都市協定



TEAM JAPAN SOCIAL ACTION 植林活動meets 三井不動産



「オリンピック・パラリンピックのマスコットを知ろう！withミライトワ、ソメイティ」開催 (@JOM)

Pillar 2 アスリートの育成・支援

主な実績と成果

- **パリ2024大会をはじめとした国際総合競技大会でのTEAM JAPANへのサポートの充実と活躍**
(パリ2024大会をはじめとする国際総合競技大会での過去最高水準の競技成績の継続、オリンピック対策プロジェクトを中心とした情報・医・科学や一体感醸成に関する取組み、JSCやパートナー企業等と連携した選手村内外での包括的なサポートの実現等)
- **アスリートアカデミーの立ち上げと学びの機会の提供**
(アスリートの交流機会の提供、オリンピックと次世代アスリートのつながり促進、能登復興支援プログラム等)
- **新たなコーチ設置制度の運用と各NFの強化責任者（ハイパフォーマンスディレクター：HPD）等との連携強化**
(HPDとの個別ミーティング、HPD・HPADフォーラム、HPD Café、JOCコーチ会議の開催等)
- **JOC Top Sports Database構築によるアスリート・指導者の情報管理基盤完成**
(各国際総合競技大会の派遣候補アスリートや役員等、オリンピック強化指定選手等の基礎情報の一元管理等)
- **シンボルアスリートやオリンピック強化指定選手、TEAM JAPANアスリートによる社会貢献活動の広がり**
(TEAM JAPAN SOCIAL ACTION、能登震災復興活動、母校卒業式へのメッセージ発信等)
- **アントラージュを対象とした啓発教材の作成やセミナーの開催**
(ジュニアアスリート保護者向けセミナーの開催、動画教材の作成など)
- **味の素ナショナルトレーニングセンターにおけるアカデミー事業の運営およびキャリア支援の継続**
(JOCエリートアカデミー、JOCナショナルコーチアカデミー、アスナビ含めJOCキャリアアカデミーなど)



パリ2024大会のTEAM JAPAN Café



指導者ワーキングHPD・HPADフォーラム



TEAM JAPAN シンボルアスリートの阿部一二三・詩選手と開催した「ABE CUP 2024」

Pillar 2 アスリートの育成・支援

継続検討課題

- ・ “憧れられるアスリートの育成”に向けた指標の検討
- ・ 選手強化デジタルプラットフォームの基盤構築に向けた検討と関係各所との調整
- ・ 指導者・スタッフの学習機会充実やサポートする仕組みの検討（資格化、メンタルケア、キャリア形成支援等）
- ・ アスリートの現状とニーズの把握をふまえたアントラージュ関連の活動方針、施策の検討



アスリート交流会の様子

第2次JOC中期計画に向けて

- ・ TEAM JAPANハイパフォーマンスプロジェクトによる各国際総合競技大会におけるサポートの更なる充実（ミラノ・コルティナ2026冬季大会、愛知・名古屋アジア大会、ロサンゼルス2028大会等）
- ・ アスリート及び指導者・スタッフのウェルビーイング向上、アスリートを取り巻く環境の充実に向けた支援
- ・ 国際総合競技大会派遣を機会としたTEAM JAPANアスリートの育成（国際交流の推進等）



ジュニアアスリート保護者向けセミナー



アスナビ説明会の様子



JOCナショナルコーチアカデミー



TEAM JAPAN Building Upの様子
(TEAM JAPAN TVとの連携)



JOCアスリートアカデミー能登復興支援



令和6年度JOCコーチ会議

Pillar 3 国際交流の推進

主な実績と成果

- JOCの「今後の国際戦略のあるべき姿に関する基本方針」の策定
- 国際スポーツ組織におけるポジション獲得（FISU理事1名、OCAアスリート委員会委員に1名が就任）
- パリ2024大会におけるTEAM JAPAN HOUSEの設置（関係各所と連携した情報発信及び国際交流等）
- NFの国際戦略策定やポスト獲得等に向けた支援（JOC／NF国際情報共有会、国際戦略策定ワークショップ等）
- IOCオリンピックソリダリティーやスポーツ庁委託事業等による国際貢献事業や国際交流事業の継続
- 国際人養成アカデミーを中心とした人材育成の継続

継続検討課題

- JOCとNFの国際プレゼンス向上に向けた情報収集・分析の仕組み構築
- 体系化した国際人材育成プログラムの開発とアスリートを含む幅広い国際人材の育成

第2次JOC中期計画に向けて

- 今後のオリンピック等国際総合競技大会でのTEAM JAPAN HOUSEの設置・運営
- 愛知・名古屋アジア大会開催に向けた連携・支援と同大会を契機としたアジア各国・地域NOCへの支援協力
- アスリートによる国際交流の意識醸成、機会創出とその情報発信
- 「OM推進のための国際大会開催に向けた検討会議」をふまえた今後のステップの検討



パリ2024大会中に実施したパートナーNOC
調印式（サウジアラビア）



FISU総会での役員選挙



JOC国際人養成アカデミーの様子

Pillar 4 JOC組織力・基盤強化

主な実績と成果

- 多くの役職員の参画による第2次JOC中期計画（2025-2028）の完成
- 事業計画・予算及び中期計画の半期ごとの進捗管理の定着、システム化（DB化）の基盤完成
- 予算策定プロセスの見直しや経理業務のシステム化の推進、職員の予算意識向上
- 新人事制度の運用開始と職員向け研修の実施（コンプライアンス、ハラスメント、管理職研修等）
- パートナー企業とのコミュニケーション機会創出（パートナーミーティング、JOC NEW YEAR RECEPTION等）

継続検討課題

- 新人事制度の適正な運用と職員のエンゲージメント向上に向けた環境整備

第2次JOC中期計画に向けて

- 組織運営体制の強化と社会状況の変化に応じたガバナンスの維持・強化
- 収支分析に基づく事業予算の適切な執行と保有資産の効率的な運用
- ステークホルダーとのコミュニケーション活性化
(NF、パートナー企業、パートナー都市、スポーツ庁、JSC、JSPO、JPC等)
- **TEAM JAPAN**ブランドの積極活用と情報発信の強化



第2次中期計画WG／事務局内共有会の様子



JOC NEW YEAR RECEPTION 2024

Pillar 5 NF連携・支援

主な実績と成果

- NFへのガバナンスコード適合性審査の実施と要改善事項のあるNFへの継続的支援
- NF会長会議、専務理事等会議の継続開催（NFの課題や本会への要望を踏まえた意見交換など）
- NF総合支援センターによる支援の充実（助成金・補助金管理運用のDB化、法務サポートの開始）
- NFジョイントマーケティングの推進（オリンピック競技団体の約8割との連携実現）



NF 会長会議の開催

継続検討課題

- NFへのガバナンスコード適合性審査における要改善事項減少に向けた支援
- NFジョイントマーケティングにおけるパートナー企業の権利活用やアクティベーションの活性化
- 女性活躍向上に加え、ジェンダー平等・多様性に関する観点等も含めた具体的な取り組みの検討



第2次JOC中期計画に向けて

- OM推進、競技普及、社会貢献活動等における更なる連携と協働
- 憧れられるアスリート育成やアスリートを取り巻く環境整備における更なる連携と協働
- NFの国際プレゼンス向上やNFと連携した国際貢献・国際協力の推進における連携と協働



NFジョイントマーケティングにおける
ブランド連携